

4 地域課題解決に向けたオフリング創出

地域金融機関ビジネスの核となる 新規ビジネスを企画し、価値を提供

ゼロから新規ビジネスを企画し、各事業部と共に企画した案件を事業化するオフリング推進室ビジネス企画担当。同部署は、NTTデータのインキュベーション組織として、さまざまなオフリング創出に取り組んでいる。

地域金融機関の役割と NTTデータの使命

かつてNTTデータの金融事業本部のビジネスの根幹は、地域金融機関に向けて基幹系システムを提供することだった。昨今では、長きにわたり培ってきたリレーションを活かし、デジタルサービスを提供することがビジネスの主軸となっている。

現在、地域金融機関自身は、金融ビジネスのみに囚われず、地域のお客様を支援する取り組みを模索している状況にある。NTTデータも地域課題を解決する新規ビジネスを企画創造することで、地域金融機関ひいては地域社会全体を活性化することに繋げたいと考えている。

NTTデータは、地域金融機関と

NTTデータのビジネスの方向性について図1のように捉えている。現在の地銀1.0から、地銀2.0、地銀3.0と時間軸が進むに連れ、ステークホルダーは広がり、ビジネスモデルも複雑化する。またビジネスを実現するまでの時間も長期化する傾向にある。従って、NTTデータとしては、将来を見据え早期に積極的にオフリングに取り組む必要がある。

キーワードは業際と共創

オフリングを創出するためには、地域企業間や業界間、すなわち業際の課題を発掘することも重要だ。課題を金融機関や企業単独のものとして捉えるのではなく地域全体の課題として捉えることにより、地



株式会社 NTT データ
第二金融事業本部
オフリング推進室 ビジネス企画担当
部長 乙間 貴氏

域エコシステムを構築できる。

「ステークホルダーやプレーヤーと共創しオフリングを創出することで地域金融機関の新しいビジネスに貢献したいと考えています。近例に畜産DXがあります。従来私たちは金融機関に対しITサービスを提供し、金融機関は畜産農家に金融サービスを提供し、ベンダーは畜産農家に業務高度化に繋がるサービスを提供していました。しかし、ベンダーと共創し畜産農家に対する新しいサービスを一体となって提供することで、やがては金融の高度化支援にもつなげよう取り組みを推進しています」(乙間氏)。ユースケースとして次頁から「畜産DX」「TriView/Teleco」「ミナスタ！」を紹介する。

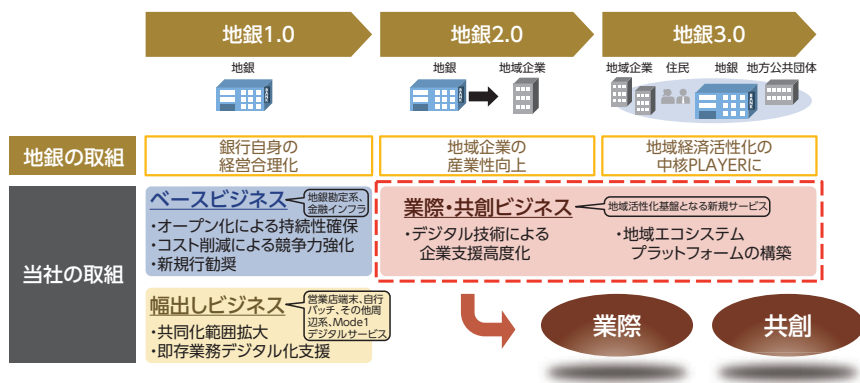


図1 地域金融機関とNTTデータのビジネスの方向性